

●里山ハイキングコース年末清掃 23 日

年末準備の作業で最も人気のないのがハイキングコースの清掃です。このコースは 7 km あり、手ごろなコースです。水取のバス停から高船へ歩く。天王運動広場を過ぎて急坂を左に折れて進むと登山口から本格的な山道に入り、竹藪を進むと一番の難所で約 40m の急登に取り掛かる。過ぎて振り返ると比叡山の雄姿がかすむ鉄塔を過ぎると尾根道で、竹がこれでもかと迫る。孟宗・淡竹が迫る第一の三角点を過ぎ平坦な道を進むと府道に出る。ここ太田尾の交差点過ぎると山間の畑道途中に二月堂遙拝の石碑、進むと府道に出て、坂を下ると高船バス停を左に進み峠道に入ると、多分徳川家康が通過したと思われる伊賀越えのルートと見える峠道。頂上を右に回って、竹藪を進み 2m ほどの急な斜面を登ると、あとは笠上神社への平たん路。まもなく、笠上不動尊があり、10m で笠上神社、境内でホルトの木を確認して神社を後にする。府道を 100m ほど進むと分かれ道を右にとって歩を早めると不整地が姿を現す。さらに進むと、棚田の美しい風景に出会う。ここがコース最大の景色で、正面に生駒山が迫る電信柱がないまことに優しい風景が楽しめる。心を鬼にして前に進むと、左右にため池が現れ、シュレーゲルカエルが出迎える。さらに進むと、左に折れる生駒市への小道、まっすぐ進むと、いよいよ三国境である京都、大阪、奈良の接点で三角点でもある。ここからは単調な道をひたすら進む、保谷への道の三叉路を右に取るとまもなく朱智神社。この道にウラシマソウが咲く、すぐ朱智神社である。眺めを堪能して参道に出るとすぐ、如月窯があり、京田辺市屈指の大変高い石垣の道で、急坂を下ることになる。10 分ほどで天王のバス停に出る。約 3 時間コースでここから天王の急坂を下る。普賢寺小学校に到達する。さらに坂を 30 分下ると普賢寺小学校・水取のバス停に到着となる。ゴールだ。ここを年末に清掃ハイキングを行う。今年は本当にゴミが少なかった。ハイカーのマナーがよくなったのではないかな。

●里山農園年末整頓作業 24 日

冬の野菜の種まき、植え付けから正月を超えて春には野菜の種まきや植え付け、ナスやキュウリなどを収穫。そして里山ショップで、団地朝市で、春の野草を味わう会など随分と一年間お世話になってきた。同時に炭焼き原木の切り出しと里山結成 20 周年記念集会、蛍の夕べや里山音楽会、オオムラサキの観察会、カスミサンショウウオの再発見、ジャガイモやサツマイモ収穫祭と学習や観察会、調査会に素晴らしい効果を発揮してきた里山農園とその施設教育棟や観察棟は、言葉に言い表せない効果を発揮してきた。今日では農園施設抜きに活動を考えられない施設となっている。ただ駅から人里からも少し遠いという点だけである。これも、この夏 8 人乗りの普通車の寄付があって克服されてきた。一番の問題はナラ枯れへの対応であり、大きな木の枯れ枝が落下する危険が大きくなっていることである。また伐採した枝や葉が放置されているのも気がかりである。わずか午前中の 2 時間であったが、見違えるほど農園らしくなった。最終の事務局会議の 28 日では、残作業はまだまだ気になるが、みんなで 11 人も一斉に農園の手入れに参加したことは素晴らしい行動であるとの評価があった。

●しめ縄づくり 25 日

恒例の餅つきとしめ縄づくりのうち、餅つきの参加申し込みがなく、やむなく中止となった。そこへ予定した会場が使えなくなって急遽変更となり、草内倉庫で行った。前日の打ち合わせでは、変更案内を張り出すことになっていたが、連日の大イベントの連続で変更連絡案内のポスターの張出をすっかり失念していた。一般新聞で開催を知って参加者が、待ちぼうけをさせられるという失態となった。いかに多忙であっても公表した内容については正確に対処することを確認した。お集まりいただいた皆様に心よりお詫び申し上げます。当日の参加者は 13 名で大村氏の指導の下に立派な見栄えのする作品が完成させられました。楽しいいい取り組みになりました。

●木津川希少種植物維持管理地の総点検実施 26 日 右岸 42 か所 左岸 74 か所

5 年前に木津川全河川で生育植物の確認杭打ちを実行して以来の確認作業を行いました。参加者は植物関係者の皆さん 4 名と事務局 4 名の 8 名で 10 時から御幸橋から恭仁京橋までの約 24 km の左右両岸の維

持管理地を点検確認しました。デスク上の計算では右岸 42 か所 左岸 74 か所と以前調査点よりかなり増加しました。

●教育棟床板塗装作業 27 日

里山農園における教育棟の役割は計り知れないものです。完成してから 3 年が経過して床板が雨風にさらされ随分劣化の兆しがみられ、今、手入れを行えば延命が図れるとして、床板の表面の研磨と塗装を行うことになり、小川さんにお骨折りを打診し、できるものがお手伝いをお願いしました。小川さんへのおんぶにだっこ状態で何とか塗布完成となりました。床板が新品のように木目が浮き出て、土足での使用は遠慮しなくてならないほどきれいになりました。皆さん、きれいに使いましょう。

●2016 年里山の会 10 大ニュース 最終事務局会議で出席者による投票で決めました

- 第 1 位 *結成 20 周年記念祝賀会開催し長期間在籍者に感謝状贈呈
- *カスミサンショウウオ 10 年ぶりに卵のう発見(絶滅寸前種)
- 第 3 位 *ササユリ問題発生と整理
- *近畿地方整備局業務発表会で 2 年連続奨励賞受賞
- *県外現地研修会実施 長良川店部タワーと愛知用水名古屋平和公園
- 第 6 位 *河川レンジャー久しぶりに中西カヨさん 南良さん採用
- *木津川希少植物管理地明示杭
- 5 年ぶりに更新
- 第 8 位 *親子で遊ぼう学ぼう魚とり
- 6 回実施
- *竹蛇籠で生き物調査 3 回実施
- *教育棟床板再生作業始まる
- *河川協力団体指定される

●2017 年正月最初のイベント 七草摘み七草かゆ プログラム決定

8 時 30 分 スタッフ里山の会事務所集合出発 9 時 00 分 会場づくり テント 椅子運び込み 便所設置 焚き火点火 放送設置(バックミュージック、越天楽 春の海等各自持ち寄り) 9 時 30 分 近鉄三山木駅送迎バス発車 9 時 45 分受付開始 10 時 00 分初めの言葉 10 時 05 分発声 富士山 10 時 15 分自己紹介 10 時 30 分七草の話 10 時 40 分衣装着かえ 麻呂 姫 童 10 時 45 分七草摘み 11 時 05 分水洗い 10 時 30 分火おこし 10 時 40 分粥炊き始め 11 時 15 分七草刻み…囃子歌 11 時 25 分七草煮込み 11 時 35 分炊き上がると試食 11 時 55 分レクレーション(ゲーム 皿回し 腹話術) 合唱(青い山脈 黒羽節 北国の春 古城 星影のワルツ) 12 時 30 分後片付け 12 時 40 分終わりの言葉 12 時 50 分送りのバス発車

参加募集について メールまたは F A X 30 組 60 人 先着限定 fddb257@ybb.ne.jp
0774-64-4183 参加費 500 円 事務所正月休みなので問い合わせの対応はできません 4 日事務所開